

# ■■化学療法投与計画書《IRIS療法》■■

実施日	
-----	--

患者番号	性別	身長	cm	
カナ氏名	生年月日	体重	kg	指示医
患者氏名	年齢	体表面積	m <sup>2</sup>	

Rp)イリノテカン(トポテシン) 125 mg/m<sup>2</sup> 点滴静注 4週毎(Day1,15投与)  
 TS-1 ※用量は下記参照 内服 Day1夕～15朝内服,15夕～28休

※TS-1用量:体表面積に応じて調整  
 Day1夕～15朝内服, 15夕～28休薬  
 <1.25m<sup>2</sup> 80mg/body /日 (20mg 4C 2×)  
 1.25～1.5m<sup>2</sup> 100mg/body /日 (25mg 4C 2×)  
 1.5m<sup>2</sup>< 120mg/body /日 (20mg 6C 2×)

レジメンコメント1
レジメンコメント2

本管①	Day1(中心静脈)
生理食塩液	100mL 1 瓶

側管①	パロノセトロン点滴バッグ	1 袋
1	0.75mg50mL	
5	デカドロン注射液1.65m	4 管

側管②	大塚糖液5% 250mL(5%TZ)	1 袋
9	イリノテカン塩酸塩水和物	mg
0	<腫>トポテシン点滴静注100mg5mL:	
	<腫>トポテシン点滴静注40mg2mL:	

《推奨》・・・便秘がある場合  
 ※イリノテカン投与前日  
 センノシド錠12mg 2錠内服  
 (理由)胆汁が腸管内に停滞すると、胆汁排泄されたイリノテカンが再吸収される恐れがあるため

Day15へ続く

＜実施時の注意＞  
 漏出時:直ちに投与を中止し、薬剤を吸引、洗浄し、ステロイドの局注、ステロイドの外用剤で対処する。  
 イリノテカンは光に不安定なので点滴時間が長時間に及ぶ場合には遮光して投与すること。

＜注意すべき副作用＞  
 ●食欲不振、吐き気 ●皮疹 ●下痢 ●口内炎 ●色素沈着 ●脱毛(頭髪、まつ毛、眉毛など)  
 ●白血球減少 ●赤血球減少(貧血) ●血小板減少